

祖父からの言葉

富山高岡市立博労小学校 六年 聞守 麻佑子

私の祖父は、三重県に住んでいます。

そのため私は、祖父と年に二、三回しか会う事ができません。

その祖父が、私が本当に幼い頃から、何度も私に使う言葉があります。

「麻佑子、何度も繰り返し繰り返しやぞ。」

この言葉を、祖父は事あるごとに私に言うのです。

四才や五才までの私は、その言葉も分からないまま返事だけをしていました。

六才の時、補助輪なしの自転車を祖父に買ってもらいました。うれしくてうれしくて、この新しい自転車でスイスイ走り回りたいと心の中で思っているのに、乗ると足はガクガクとしてハンドルをまっすぐにぎる事さえできませんでした。私は、くやしくて悲しくて何度も何度も練習をしてこけてけがをする事もありました。

そして、春になった頃、私は自転車を買ってもらった時、ワクワクしながら心の中で想像していた通りに、自転車にスイスイ乗れるようになっていました。これが、

「何度も、繰り返し繰り返し。」

という祖父の言葉を初めて少し理解できた事です。

私には、苦手な事がたくさんあります。少しやってみて、嫌になったりあきらめたりする事もたくさんあります。そんな時、祖父の「繰り返し繰り返し」という言葉を思い出して、

「もう一度やってみよう。」と思うようにしています。

先日、東日本大震災がありました。

家族で、テレビのニュースを見ている時、津波でほとんどこわれた家から助け出されたおじいさんが、インタビューの人に

「だいじょうぶです。また、ここに家を建てます。」

と笑顔で答えていました。大変な目にあっても、日本を復こうしていこうという気持ちは

「何事も繰り返し繰り返し。」だと、色々な時に思いました。

つらい事や苦しい事から逃げ出さず、たとえ今すぐできなくても、

「繰り返し繰り返し。」

私は祖父に教えてもらったこの言葉を、一生大切にしていきたいと思いました。